

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放デイほたる		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 1日		～ 令和6年 12月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18人	(回答者数) 13人
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 1日		～ 令和6年 12月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後に友達との楽しい遊びがある場所になっている事。	季節に応じた取り組みや遊びを行っています。	さらに利用日が楽しみになるような職員の遊びの学びや、子ども一人一人との信頼関係を結び、ホッと過ごせる環境作りを行います。
2	職員間のチームワーク。	毎日始業時にその日の流れと支援の確認を行い、保育終了後には振り返りを行って、継続した支援になるように工夫しています。	職員それぞれが適切な支援を行えるように、さらに学習を積んでいきます。
3	保護者支援について。	年2回の保護者懇談会または学習会を行っています。送迎時には保護者の方のお話しをお聞きする良い機会になっています。	懇談会や学習会について、事前にアンケートを取り、より保護者の方の意向に沿った会が行えるようにしたいと思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもの活動等のスペースについて、以前から室内や屋外について使用の工夫はしているものの、十分とは言えません。	低学年の集団ならば十分に感じるものの、高学年の比較的身体の大きな子ども達の利用が多くなると、雨天の日には室内が手狭に感じる日もあります。	事前に活動内容等を考え、体育館や近くの公民館をお借りして活動をしています。さらに工夫できる点はないか模索していきます。
2	個々の子どもに対してニーズや課題を客観的に分析する為のアセスメントツールを作成していません。	利用を開始する場合には使用しているものの、継続して使用できるツールにはなっていませんでした。	継続して使用できるツールを作成し、ニーズや課題を客観的に把握するように努めていきます。
3	職員の事業所評価について、無記入欄が多くあります。	パートタイムの職員に対して、実際に子ども達と関わる以外の事業所の仕事内容についての共通認識が弱いと考えられます。	全ての会議への参加が難しい場合は議事録に目を通してもらうように工夫します。